



## 第8回全日本ロープスキッピング選手権大会概要

全日本ロープスキッピング選手権大会は、日本ロープスキッピング連盟（JRSF）の主催する国内最大のロープスキッピングの大会とし、国際ロープスキッピング連盟（FISAC-IRSF）の定めるルールを基に、アジア・世界選手権大会への代表選考会などを行うと同時に、幅広いロープスキッピングの発展・普及に努める大会とする。なお、第8回全日本ロープスキッピング選手権大会は、第7回アジアロープスキッピング選手権大会（平成25年開催予定、開催地未定）の代表選手の選考を行う大会とする。

### 1 大会名

第8回全日本ロープスキッピング選手権大会（略称 8JC）

### 2 大会期日

平成24年12月16日（日）9：30～17：30

### 3 大会会場

「興本地域学習センター」

〒123-0844 東京都足立区興野 1-18-38 TEL：03-3889-0370

<http://www.kousya.jp/manabi/institution/O9okimoto/summary.phtml>

### 4 主催

日本ロープスキッピング連盟（JRSF）

### 5 後援

柏なわとびクラブ

### 6 部門

本大会では以下の4部門で性別を分けずに競技を行う。

#### <個人戦>

- 小学生低学年の部：2003（平成15）年4月2日～2006（平成18）年4月1日生まれ
- 小学生高学年の部：2000（平成12）年4月2日～2003（平成15）年4月1日生まれ
- 中高生の部：1994（平成6）年4月2日～2000（平成12）年4月1日生まれ
- 一般の部：1994（平成6）年4月1日以前生まれ

#### <団体戦>

- 小学生低学年の部：2003（平成15）年4月2日～2006（平成18）年4月1日生まれ
- 小学生高学年の部：2000（平成12）年4月2日～2003（平成15）年4月1日生まれ
- 中高生の部：1994（平成6）年4月2日～2000（平成12）年4月1日生まれ



- 一般の部 : 1994 (平成 6) 年 4 月 1 日以前生まれ  
※団体戦の年齢区分は、チーム内の最年長選手の年齢により決定する。

#### 例

選手 A : 大学生 選手 B~D : 高校生 …一般の部

選手 A、B : 中学生 選手 C、D : 小学生低学年 …中高生の部

ただし、競技者数が 10 人 (団体戦は 5 チーム) に達しなかった部門は、その部門をなくし、競技者は次のように指定の部門に移動して競技を行う。

- ① 小学生低学年の部が 10 人 (団体戦は 5 チーム) に達しない場合は、小学生高学年の部と合わせて、小学生の部として競技を行う。
- ② 小学生高学年の部が 10 人 (団体戦は 5 チーム) に達しない場合は、中高生の部と合わせて、小学生高学年・中高生の部として競技を行う。
- ③ 中高生の部が 10 人 (団体戦は 5 チーム) に達しない場合は、一般の部と合わせて、中学生以上の部として競技を行う。
- ④ 一般の部が 10 人 (団体戦は 5 チーム) に達しない場合、③と同様に中高生の部と合わせて、中学生以上の部として競技を行う。
- ⑤ 参加人数 (チーム数) によっては、3 つ以上の部門を統合する場合もある。

## 7 団体戦のチーム構成

団体戦に参加する選手は、3~7 人でチームを組み出場することができる。ただし、1 人の選手が 2 つ以上のチームに重複して所属し、団体戦の種目に参加することはできない。また、アジア選手権の選考を希望するチームは、4~5 人でチームを組まなければならない。

## 8 競技種目

本大会では以下の個人戦 (シングルロープ) 5 種目、団体戦 4 種目を開催する。各種目および総合で 1~3 位を表彰する。ただし、個人戦の三重とびについては、小学生低学年の部では行わない。参加は 1 種目から可能である。

### <個人戦>

- ① 30 秒スピード (かけ足とび)
- ② 3 分スピード (かけ足とび)
- ③ フリースタイル
- ④ 30 秒スピード (二重とび)
- ⑤ 三重とび (小学校低学年の部では行わない)
- ⑥ 個人総合 (上記①~③の総合順位、順位の計算方法は「9 総合順位計算方法」参照)

### <団体戦>

- ① シングルロープスピードリレー
- ② ダブルダッチスピードリレー
- ③ ダブルダッチ 30 秒シングルスピード
- ④ ダブルダッチ 30 秒ダブルスピード
- ⑤ 団体総合 (上記①、②の総合順位、順位の計算方法は「9 総合順位計算方法」参照)

## 9 総合順位計算方法

### <個人戦>

個人戦の総合順位は、30秒スピード（かけ足とび）の順位、3分スピード（かけ足とび）の順位、フリースタイルDランクおよびフリースタイルCランクの合計が小さい選手が上位となるように決定する。順位の合計が同点の場合は、総合得点（以下参照）の高い選手が上位となるように決定する。順位の合計および総合得点が同点の場合は同順位とする。

$$\text{（総合得点）} = \text{（30秒スピード（かけ足とび）の回数} \times 5\text{）} + \text{（3分スピード（かけ足とび）の回数）} + \text{（フリースタイルのD得点）} + \text{（フリースタイルのC得点）}$$

※フリースタイルのDランク、D得点、CランクおよびC得点については、JRSF ホームページのフリースタイルルールブックを参照。

### <団体戦>

団体戦の総合順位は、シングルローブスピードリレーの順位およびダブルダッチスピードリレーの順位の合計が小さい選手が上位となるように決定する。順位の合計が同点の場合、総合得点（シングルローブスピードリレーの回数およびダブルダッチスピードリレーの回数の合計）の高い選手が上位となるように決定する。順位の合計および総合得点が同点の場合は同順位とする。

例

#### <個人戦>

選手	30秒スピード			3分スピード			フリースタイル				個人総合		
	回数	得点	順位	回数	得点	順位	D得点	Dランク	C得点	Cランク	順位の合計	最終順位	総合得点
A	97	485	2	490	490	2	248	1	240	1	6	1	1463
B	99	495	1	500	500	1	180	4	210	3	9	2	1385
C	87	435	3	420	420	3	200	3	200	4	13	3	1255
D	80	400	4	380	380	5	240	2	235	2	13	3	1255
E	75	375	5	400	400	4	160	6	160	6	21	5	1095
F	70	350	6	380	380	5	175	5	180	5	21	6	1085

#### <団体戦>

チーム	シングルローブスピードリレー		ダブルダッチスピードリレー		団体総合		
	回数	順位	回数	順位	順位の合計	最終順位	総合得点
A	360	1	500	1	2	1	860
B	340	2	390	3	5	2	730
C	330	3	400	2	5	2	730
D	280	4	210	5	9	4	490
E	240	5	220	4	9	5	460

## 10 参加資格

平成24年度日本ローブスキッピング連盟正会員の場合、全種目に参加することができる。非会員が参加できる種目は次の5種目とする。ただし、アジア選手権の選考を希望する選手は、会員登録をしておかなければならない。

### <個人戦>

- ① 30秒スピード（かけ足とび）

- ② 30 秒スピード（二重とび）
- ③ 三重とび

#### <団体戦>

- ① ダブルタッチ 30 秒シングルスピード
- ② ダブルタッチ 30 秒ダブルスピード

※会員登録については JRSF ホームページ「会員登録」 ([http://www.jrsf.jp/?page\\_id=44](http://www.jrsf.jp/?page_id=44)) を参照。

## 11 アジアロープスキッピング選手権大会の日本代表選手選考

第7回アジアロープスキッピング選手権大会は、2013（平成25）年に開催予定である（開催時期、開催地は未定）。部門は14歳以下の部（誕生日が1999～2004年）および15歳以上の部（誕生日が1998年以前）である。全日本選手権とは部門や種目が異なるので、アジア選手権に合わせて、全日本選手権の順位表とは別に、選考用の順位表を作成し、それを参考にして、日本代表選手を選考する。

### ● 個人戦総合順位による選考

選考用の総合順位表を作成し、上位から順に、男女それぞれ4名をアジア選手権の個人戦日本代表選手として選考する。この選考を希望する選手は、以下の3種目全てに参加しなければならない。

- ① 30 秒スピード（かけ足とび）
- ② 3 分スピード（かけ足とび）
- ③ フリースタイル

### ● 個人戦種目別順位による選考

選考用の種目別順位表を作成し、上位から順に、男女それぞれ1名ずつをアジア選手権の個人戦日本代表選手として選考する。1種目のみに参加している選手も選考対象とする。対象種目は、次の3種目である。

- ① 30 秒スピード（かけ足とび）
- ② 3 分スピード（かけ足とび）
- ③ フリースタイル

### ● 団体戦総合順位による選考

選考用の総合順位表（男子の部、女子の部、男女混合の部の3部門）を作成し、上位から順に、それぞれ3チームずつをアジア選手権の団体戦日本代表チームとして選考する。この選考を希望するチームは、以下の2種目全てに参加しなければならない。

- ① シングルロープスピードリレー
- ② ダブルタッチスピードリレー

14歳以下の部に出場する場合、チームの選手全員の年齢が2013（平成25）年末時点で9～14歳でなければならない。15歳以上の部に出場する場合、チームの選手1名の年齢が2013（平成25）年末時点で9歳以上、かつ残りの全選手が15歳以上でなければならない。2名以上14歳以下の選手がいる場合、15歳以上の部に参加することはできない。また、チームは4～5名の選手で構成しなければならない。

#### 例

団体戦 15 歳以上の部

チームA：チーム全員 15 歳以上	○参加可
チームB：チーム中、4 名 15 歳以上、1 名 14 歳以下	○参加可
チームC：チーム中、3 名 15 歳以上、2 名 14 歳以下	×参加不可



- **注意点**

中学生以下の選手は、原則として保護者がアジア選手権大会に付き添うことができなければ、代表選手にはなれない。ただし、JRSF に加盟する団体（なわとびクラブやサークル）のメンバーで、国際大会（世界選手権、アジア選手権）への出場が2回目以上で、所属団体から引率者がいる場合であれば、例外を認める。